

2010年9月25日(土)

福島県立医科大学附属病院においてDMAT東北地方会参集・実働訓練を行い、その中で研修医参加による救急外来トリアージ訓練を行いました。

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持った トレーニングを受けた医療チーム」と定義されており
※平成13年度厚生科学特別研究「日本における災害時派遣医療チーム(DMAT)の標準化に関する研究」報告書より
災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してDMAT(ディーマツト)
と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

(出所:DMAT事務局ホームページ)

◆スケジュール

- 9:00 スライドで1次トリアージについての説明
- 9:30 机上での1次トリアージ
- 9:50 ウォークイン患者の1次トリアージ訓練
- 10:10 スライドで2次トリアージについての説明
- 10:30 ウォークイン患者の1次トリアージ訓練(2回目)
- 11:10 訓練の感想、午前中の訓練のまとめ
- 13:00 2次トリアージ受入体制についての検討、整備
- 13:50 現場救護所1次トリアージ終了者到着2次トリアージ開始
- 14:45 検討会

●1次トリアージ訓練



ウォークインの模擬患者が来院し、トリアージを開始



患者1人60秒以内を目指し、傷病者の重症度合いを判別。判別後、患者にトリアージタグを装着します。



重傷者は救命救急センターへ移送
します。



容体は変化するので、トリアージは繰り返
し行います。



訓練中に改善点を話し合い、訓練内容をより良いものとします。

●2次トリアージ訓練



1次トリアージを受けた緑色と黄色タグの模擬患者が移送されてくるので、
事前に対策を検討します。



黄色タグ患者用エリア



緑色タグ患者用エリア



1次トリアージを受けた緑色と黄色タグの模擬患者が到着し、2次トリアージを行いました。